

## マレーシア研究関係文献目録

(2001年1月～12月)

この文献目録は、2001年1月から12月までの期間に発表されたマレーシア研究に関わる文献を集めたものです。全体を「書籍の部」と「論文の部」に分け、それぞれ著者・編者の五十音順に配列してあります。

「マレーシア」については広い意味で捉えてあるため、現在の国家の枠組みで言えばインドネシア研究やタイ研究などに分類されうるものも一部含まれています。また、「研究」についても狭く捉えず、学術論文でなくてもマレーシア社会に対する理解を深める上で役立つと思われるものも含めています。原則として日本国内で発表されたものを対象としていますが、JAMS 会員が国外で発表したものも採録してあります。

この文献目録は、JAMS 会員から編集部へ寄贈された書籍および論文をもとに、編集部で補った文献一覧を加えて作成したものです。目録作成に当たっては、西芳実、西尾寛治、石井由香の3氏に有益な情報提供をいただきました。また、JAMS 会員から寄贈された以外の文献については、西芳実、富川英生、東條哲郎の3氏の協力によって多くの部分を収集することができました。書籍・論文をご寄贈くださいました JAMS 会員のみなさん及び目録作成・文献収集に協力くださった上記の会員各氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

また、この文献目録に採録されるべきでありながら抜け落ちている文献にお気づきの場合には、編集部までご一報いただければ幸いです。

なお、編集部で現物が確認できた文献については、「民族と統合」「経済と産業」の2つの分野に分けて、文献目録の後で内容を簡単に紹介しています(紹介文中では敬称略)。目録に採録した文献をすべて取り上げているわけではありませんが、これは入手が困難で現物確認ができなかったなどの理由によるものであり、内容への評価によって採否を決めたわけではないことをお断りしておきます。また、書籍の紹介は紙幅の都合で次号の掲載となりますのでご了承ください。

【書籍】

- 明石陽至(編)『日本占領下の英領マラヤ・シンガポール』岩波書店(2001.3)。  
新井卓治・小野沢純『マレーシア語: マレーシアを旅する』三修社(2001.10)。  
生田真人『マレーシアの都市開発: 歴史的アプローチ』古今書院(2001.10)。  
石田章『マレーシア農業の政治力学』日本経済評論社(2001.11)。  
大場昇『からゆきさん: おキクの生涯』明石書店(2001.12)。  
伊藤伸平『マレー鉄道で朝食を:1 国境のこっちと向こう』凱風社(2001.4)。  
伊藤伸平『マレー鉄道で朝食を:2 半島マレーシア紀行』凱風社(2001.5)。  
勝俣文子『マレー鉄道に恋をしよう』彩図社(2001.8)。  
金子芳樹『マレーシアの政治とエスニシティ: 華人政治と国民統合』晃洋書房(2001.3)。  
立本成文『共生のシステムを求めて: ヌサンタラ世界からの提言』弘文堂(2001)。  
TACHIMOTO-Maeda Narifumi. *The Orang Hulu: A Report on Malaysian Orang Asli in the 1960's*. Subang Jaya: Center for Orang Asli Concerns. (2001).  
田村慶子『シンガポールを知るための60章』明石書店(2001.10)。  
TSUBOUCHI Yoshihiro. *One Malay Village: A Thirty-Year Community Study*. Kyoto & Melbourne: Kyoto University Press & Trans Pacific Press. (2001).  
戸加里康子『マレーシア: マレーシア語』情報センター出版局(2001.2)。  
西井涼子『死をめぐる実践宗教: 南タイのムスリム・仏教徒関係へのパースペクティブ』世界思想社(2001.4)。  
野村亨(訳注)『パサイ王国物語: 最古のマレー歴史文学』平凡社(2001.6)。  
服部美奈『インドネシアの近代女子教育: イスラーム改革運動のなかの女性』勁草書房(2001.2)。  
林田裕章『マハティールのジレンマ』中央公論新社(2001.11)。  
原不二夫『マラヤ華僑と中国: 帰属意識転換過程の研究』龍溪書舎(2001.3)。  
望月雅彦『ボルネオに渡った沖縄の漁夫と女工』ボルネオ史料研究室(2001.6)。  
森末律子『満たされてマレーシア』新風舎(2001.2)。  
案浦崇『シンガポールの経済発展と人的資本論』学文社(2001.8)。

【論文ほか】

- 会津泉 「マレーシアの挑戦: MSC の夢と現実」『アジアからのネット革命』岩波書店、pp.105-158。  
AOKI Koji(青木浩治) 「An Empirical Study on Malaysian Inward Foreign Direct Investment」『甲南経済学論集』41(4):171-198。  
青木裕子 「マレーシアにおけるごみ管理民営化と公共政策: クアラルンプール市とペナン市の地域比較分析」『国際社会科学研究』(横浜国立大学)6(3):315-339。  
青山亨 「シンガサリ=マジャパヒト王国」石澤良昭ほか『岩波講座東南アジア史 第2巻 東南アジア古代国家の成立と展開』岩波書店、pp.197-230。  
阿久津智 「マレーシアにおける多言語主義・多言語政策の展開 I」『語学研究』(拓殖大学)96:155-176。  
我沢賢之 「外国人労働者雇用抑制は自国人労働者の雇用拡大に貢献しているか: マレーシアのケース」『大阪大学経済学』50(4):75-84。

- 阿部清司 「マレーシア経済の明暗」『経済研究』(千葉大学経済学会)、15(4):593-624。
- 阿部清司 「トリレンマ理論からみたアジア危機、マレーシア、及びドル化」『経済研究』(千葉大学経済学会)、16(2):407-434。
- 新井敬夫 「マレーシアの工業開発と国際経済環境:部門別生産関数とマクロモデルによる分析:1983~1993年」『国際関係紀要』(亜細亜大学国際関係研究所)、10(3):67-88。
- 荒井正剛 「カレンダーを利用した異文化理解:中学校「地域の規模に応じた調査」(マレーシア)の導入として」『地理』46(12):84-89。
- 生田滋 「東南アジアの大航海時代」石井米雄ほか『岩波講座東南アジア史 第3巻 東南アジア近世の成立』岩波書店、pp.73-94。
- 生田滋 「ラッフルズとシンガポールの建設:地上の楽園、理想都市、そして現実」斎藤照子ほか『岩波講座東南アジア史 第5巻 東南アジア世界の再編』岩波書店、pp.295-320。
- IGUCHI Yufu (井口由布) 「The Colonial Look in the Papers on Malay Subjects」『言語・地域文化研究』(東京外国語大学)7:39-49。
- 池下譲治 「マレーシア:「痛み」は地場中小企業に直撃か」『ジェトロセンサー』51(613):22-24。
- 石川賢作 「シンガポールとマレーシアの言語・教育政策と華人社会の階層構造」『経営研究』14(特別):97-113。
- 石川登 「文化と経済のボーダーランド:ボルネオ南西部国境地帯の調査から」川田順造編『文化としての経済』国際文化交流推進協会、pp.118-129。
- 石田章 「アジア経済危機下における農産物輸出とプランテーション経営:マレーシアの事例」『農林経済』9338:2-7。
- 市川哲 「マレーシアおよびシンガポールの華人社会の宗教的シンクレティズム再考」『史苑』(立教大学)62(1):71-95。
- 伊藤恵美子 「マレーシア政府派遣留学生の対人コミュニケーション障害:言語行動を面接から分析して」『異文化コミュニケーション研究』(神田外語大学異文化コミュニケーション研究所)4:57-70。
- 伊藤研一・道明義弘・井沢裕司 「アジア・オセアニア・中南米・アフリカ 13カ国(オーストラリア・香港・インドネシア・インド・マレーシア・ニュージーランド・シンガポール・タイ・台湾・バミューダ・ブラジル・メキシコ・南アフリカ)製造業における自己資本経常利益率決定メカニズムの解明」『立命館経済学』50(2):173-187。
- 伊藤研一・道明義弘・井沢裕司 「アジア・オセアニア・中南米・アフリカ 11カ国(オーストラリア・香港・インドネシア・マレーシア・ニュージーランド・シンガポール・タイ・バミューダ・ブラジル・メキシコ・南アフリカ)非製造業における自己資本経常利益率決定メカニズムの解明」『立命館経済学』50(3):273-285。
- 稲永明久 「東南アジア地域におけるメディア情報の生産と流通:タイ・マレーシア・シンガポールを中心として」『調査と研究』(長崎県立大学)32(1):13-18。
- 井上繁 「多民族が共生するまちづくりマラッカ(マレーシア):各国の文化が交錯する海峡都市」『地方財務』564:260-267。
- 井上繁 「アジア版シリコンバレーの舞台セランゴール州(マレーシア):首都機能の一翼を担う」『地方財務』566:268-275。
- 井上甫 「マレーシアの環境問題と日系企業の取り組み」鈴木幸毅編『地球環境問題と各国・企業の環境対応:環境経営学』税務経理協会、pp.115-140。
- 井上隆一郎 「サイム・ダービー(マレーシア):金融進出で挫折、実業での再建へ」『ジェトロセンサー』51(602):76-77。
- 井上隆一郎 「プロトン(マレーシア):国有石油会社を後ろ盾に立ち直る」『ジェトロセンサー』51(611):80-81。

- 岩崎育夫「マレーシア:揺れるマハティールの開発主義国家」岩崎育夫『アジア政治を見る眼:開発独裁から市民社会へ』中公新書、pp.101-126。
- 岩崎育夫「政治体制と経済政策:インドネシア、マレーシア、シンガポールの事例」下村恭民・稲田十一(共編)『アジア金融危機の政治経済学』日本国際問題研究所、pp.41-70。
- 上坂豪「マレーシアにおける株式市場の発展と貨幣需要」『証券経済研究』34:139-156。
- 宇高雄志・山崎大智「マレーシア現代建築の成立過程におけるナショナリズムの影響」『協力研究誌』7(1):1-17。
- 及川芳樹「マレーシア:省エネ法の整備がスタート」『省エネルギー』53(7):122-124。
- 王潤華(根岸宗一郎訳)「反植民地主義から植民地主義者へ:魯迅とシンガポール・マレーシアのポストコロニアル文学」『アジア遊学』25:85-104。
- 大木昌「川:陸の中の海世界:スマトラの歴史経験から」尾本恵市ほか(編)『島とひとのダイナミズム』岩波書店、pp.85-112。
- 奥野克巳「森林伐採からエコツーリズムへ:マレーシア・サラワク州の森へのまなざし」『通信』(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所) 101:20-24。
- 奥村みさ「クアラルンプール郊外都市におけるミドルクラスの多言語使用状況:マレー語と英語のはざままで」日本「アジア英語」学会『アジア英語研究』第3号。
- オスマン・ヨップ・アブドゥラ「マルチメディア開発公社(MDC):アジアの情報ハブを目指す」『ジェトロセンサー』51(602):22。
- 小野林太郎「ボルネオ島東岸域における新石器時代漁労活動の特色と環境利用圏:魚骨資料の分析とセンポルナ海域での民族調査からの検討」『動物考古学』(動物考古学会) 17:1-24。
- 海部一男「マレーシアの新放送行政制度と番組規制」『放送研究と調査』51(11):66-85。
- 加持谷典範「使用言語により三種類の小学校<マレーシア>」『海外の教育』(全国海外教育事情研究会) 27(5):19-23。
- 加藤多恵子「アジアの IT 人材育成:マレーシア:マルチメディアスーパーコリドー(MSC)計画におけるマルチメディア大学」『情報管理』44(6):421-429。
- 金子芳樹「マレーシア:国家・NGO 関係における 2 つの二重構造」重富真一『アジアの国家と NGO:15 カ国の比較研究』明石書店、pp.226-249。
- 金沢謙太郎「生物多様性消失のポリティカル・エコロジー:サラワク、バラム河流域のプナン集落における比較調査から」『エコソフィア』7:87-103。
- 鴨川明子「1970 年初頭以降のマレーシアにおける社会変動と教育拡大」日本国際教育学会『紀要』7。
- 鴨川明子「マレーシアにおける高等教育のローカリゼーション:クアラ・ルンプール近郊の大学を中心に」研究代表者・西野節男、科研費基盤研究(B)(2)「アジア諸国の国民教育におけるグローバル・インパクトに関する比較研究:中等教育カリキュラムの改革を中心に」報告書、120-130; 178-183。
- 川淵和彦「ボルネオのダヤーク族」川淵和彦『東南アジアに見るアイヌ文化の伏流』新読書社、pp.39-62。
- 岸脇誠「マレーシアにおける人権とエスニック問題:マハティール首相の人権観を中心に」『人権問題研究』(大阪市立大学人権問題研究センター) 1:155-171。
- 北野尚宏、水野兼悟、城所哲夫「東南アジア住宅セクターの課題:インドネシア・タイ・フィリピン・マレーシア」『開発金融研究所報』8:88-113。
- 久保田強「マレーシアの交通事情」『交通工学』36(5):55-62。

- 熊谷聡「課題山積の中で政権移譲期迎えるマハティール政権」『世界週報』82(23):44-45。
- Gladys Mirandah、Ponnampalam Sivakumar「講演録「シンガポール、マレーシア及び近隣諸国の知的財産関連法規について:国境取締りを中心として」」『CIPIC ジャーナル』117:1-20。
- 黒田景子「マレー半島の華人港市国家」桜井由躬雄ほか『岩波講座東南アジア史 第4巻 東南アジア近世国家群の展開』岩波書店、pp.161-187。
- 小出高明「マレーシアの天然ガス」『石油開発時報』130:24-27。
- 高地薫「書評:白石隆著『海の帝国:アジアをどう考えるか』」『アジア研究』47(2):90-93。
- 郡山力郎・中野頼明・Pang Chau Leong「開発途上国における公共の職業教育・訓練の役割とその貢献:マレーシア」『JIL 資料シリーズ』109:1-220。
- 小島正剛「結社の自由が最大級の課題:マレーシア労組幹部に聞く」『労働レーダー』25(7):61-63。
- 小林孝郎「マレーシアにおける多言語主義・多言語政策の展開Ⅱ:多言語併用社会の実相」『語学研究』(拓殖大学) 96:177-203。
- 小林誠・宮本敏行「マレーシアの酪農・乳業事情と飲用乳自給の可能性」『畜産の情報・海外編』141:56-78。
- 小保内弘子「マレーシアとタイの経済発展と外国人専門家の流入」『明治大学短期大学紀要』68:59-79。
- 小宮菱一「マレーシア国での教育・研究活動に従事して」『Techno-stream』24(3):51-53。
- 斉藤寿昭「マレーシアのIT戦略推進と人材確保」『さくらアジア・マンスリー』1(12):3-4。
- 坂部望・新保史生・一戸信哉「メディア融合時代における立法事例:マレーシアの通信・マルチメディア法」『海外電気通信』(国際通信経済研究所) 34(1):5-29。
- 佐々木幸・福田隆真「マレーシア教育ディプロマ・美術教育マイナーシラバスについて」『山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』12:97-112。
- 佐藤考一「マレー武術シラット(Silat)考」『シンガポール』(日本シンガポール協会) 2001(1):27-31。
- 自治体国際化協会シンガポール事務所「海外の地方自治体:東マレーシア・サラワク州ミリ市:石油産業から国際観光リゾート都市へ」『自治体国際化フォーラム』139:31-33。
- 篠崎香織「シンガポールの海峡華人と「追放令」:植民地秩序の構築と現地コミュニティの対応に関する一考察」『東南アジア 歴史と文化』30:72-97。
- 篠原浩一郎、片桐広逸、麻生有二「マレーシア・サラワク州の遠隔医療プロジェクト」『ITU ジャーナル』31(5):9-13。
- 渋谷英章「書評:杉村美紀著『マレーシアの教育政策とマイノリティ:国民統合のなかの華人学校』」『教育学研究』68(4):441-443。
- 島戸治江・武谷由紀「東アジアの持続的発展への課題:タイ・マレーシアの中小企業支援策」『開発金融研究所報』5:150-180。
- 首藤恵「マレーシアの金融危機と民間債券市場:制度構築の視点から」『証券経済研究』29:61-78。
- 城前奈美「タイ・マレーシア観光産業開発の国家戦略」『世界経済評論』45(8):59-65。
- 杉本均「マレーシアにおける民族統合学校(ビジョン・スクール)の動向」『京都大学大学院教育学研究科紀要』47:84-98。
- 鈴木恒之「オランダ東インド会社の覇権」石井米雄ほか『岩波講座東南アジア史 第3巻 東南アジア近世の成立』岩波書店、pp.95-120。
- 鈴木陽一「グレーター・マレーシア 1961~1967:帝国の黄昏と東南アジア人」『季刊国際政治』126:132-149。

- 須田一弘「カンボンのフリーター:マレーシア・トレンガヌ州ゴンバライ村の生業と若者の職業選択」『北海学園大学人文論集』19:113-138。
- 瀬田史彦・大西隆・城所哲夫「マレーシアにおける製造業企業の地方分散政策と立地構造についての研究」『都市計画論文集』36:337-342。
- 瀬田史彦・大西隆・城所哲夫「情報産業の誘致を主眼とした地域開発政策の有効性に関する研究:マレーシア・マルチメディアスーパーコリドー(MSC)のケーススタディ」『都市計画』50(5):80-87。
- 銭谷馨「マレーシアの資本市場育成 10 年計画」『資本市場クォーターリー』5(1):215-229。
- 瀬尾重治「多様性に富んだマレーシアの養殖事情と社会背景」『アクアネット』4(4):68-72。
- 瀬尾重治「マレーシア・サバ州の増養殖事情」『アクアネット』4(7):66-71; 4(8):60-65。
- 蟬本睦「マレーシア:違う顔、違う神、一つの国」『ジェトロセンサー』51(610):60-61。
- SODA Naoki(左右田直規)「The Malay World in Textbooks: The Transmission of Colonial Knowledge in British Malaya」『東南アジア研究』39(2):188-234。
- 左右田直規「書評:杉村美紀『マレーシアの教育政策とマイノリティ:国民統合のなかの華人学校』東京大学出版会、2000」『東南アジア研究』39(2):275-277。
- 高橋康隆「マレーシアの自動車産業:PROTON について」『関東学院大学紀要』9:53-67。
- 高安健一「韓国とマレーシアに学ぶ:資産管理会社(AMC)を活用した不良債権処理と企業債務再構築」『Japan research review』11(11):69-108。
- 竹熊尚夫「IT 教育を先進国入りの突破口に:多民族国家マレーシア」『内外教育』5219:2-4。
- 俵田睦子「マレーシア:中国の台頭で正念場を迎える電気・電子産業」『ジェトロセンサー』51(610):92-93。
- チュウ・ジンエン「マレーシアの工業化と開発財政:被雇用者年金基金の役割を中心に」『証券経済研究』33:133-150。
- テイ、アンジェリン&シエ・リー・メイ・リン「増加するマレーシアへの直接投資」ロス・デービス&矢作敏行(編)『アジア発グローバル小売競争』日本経済新聞社、pp.259-289。
- 床呂郁哉「サイバースペースのなかの「ピープルパワー」」『通信』(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)101:28。
- 坪内良博「マレー農村の 30 年:生態適応の終焉を背景として」『アジア・アフリカ地域研究』1:5-20。
- 鳥居高「マレーシアの開発戦略と政治変動:多民族社会の安定装置は機能し続けるか」末廣昭・山影進編『アジア政治経済論:アジアの中の日本をめざして』NTT 出版、127-155。
- 鳥居高「マレーシア:多民族国家における成長と分配」原洋之介編『新版 アジア経済論』NTT 出版、pp.199-233。
- 中川利香「マレーシアの挑戦:通貨危機の対処方法をめぐって」『紀要』2:1-18。
- 中澤健「マレーシアの CBR 活動:公的 CBR と、ある NGO の実践から」『アジア福祉文化研究センター研究紀要』3(1):1-8。
- 中澤政樹「イスラームとエスニシティ:マレーシアの場合」九州産業大学公開講座委員会(編)『21 世紀をめぐる文化・社会』九州大学出版会、pp.73-143。
- 永田淳嗣「マレーシアの経済発展と農業・農村」『歴史と地理』548:19-22。
- 長津一史「海と国境:移動を生きるサマ人の世界」尾本恵市ほか(編)『島とひとのダイナミズム』岩波書店、pp.173-202。

- NAGATSU Kazufumi(長津一史)「Pirates, Sea Nomads or Protector of Islam?: A Note on “Bajau” Identifications in the Malaysian Context」『アジア・アフリカ地域研究』(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)1:212-230。
- 中根圭代・Marzuki bin Mohammad Noor「民族調和を誇りにルック・イースト政策実施:マレーシア:ダトM.N.マルズキ」『外交』17(3):8-9。
- 中村純「マレーシアの産業構造と相互依存関係」『アジア研ワールド・トレンド』7(11):19-21。
- 中村文隆「東アジア諸国における工業化政策の類似性と相違性:マレーシア経済の工業化の進展から」『明治大学社会科学研究所紀要』39(2):139-150。
- 中村正志「マレーシア:調整型リーダーの時代へ:アブドゥラ・アフマド・バダウィ」『アジア研ワールド・トレンド』66:12-13。
- 中村正志「マレーシア:政治改革要求とマハティール政権」『アジア研ワールド・トレンド』7(7):21-25。
- 中村正志「クアラルンプール周辺の住民衝突とその背景」『アジア研ワールド・トレンド』71:31-32。
- 中村正志「マレーシアのイスラム過激派問題」『世界週報』82(44):46-47。
- 西芳実「アチェ紛争:ポスト・スハルト体制下の分離主義的運動の発展」日本比較政治学会編『民族共存の条件』早稲田大学出版部、pp.103-121。
- 西尾寛治「17世紀のムラユ諸国:その構造と諸変化」石井米雄ほか『岩波講座東南アジア史 第3巻 東南アジア近世の成立』岩波書店、pp.151-177。
- 西尾寛治「近世の東南アジア住民とイスラムとの出会い」『アジア遊学』30:102-111。
- 西尾寛治「近世ムラユ王権の歴史的展開:ムラカ、ジョホール、ジョホール・リアウの分析から」『東南アジア 歴史と文化』30:25-45。
- 西尾寛治「近世のムラユ港市国家と海民」『史苑』(立教大学)62(1):131-155。
- 野村亨「イギリス領マラヤ」斎藤照子ほか『岩波講座東南アジア史 第5巻 東南アジア世界の再編』岩波書店、pp.185-212。
- 橋本懋・石橋仁「マレーシア:ピンツルにおける PCLNG タンクの建設」『Electric Power Civil Engineering』294:126-128。
- 長谷川治・武藤浩明・三枝伸太郎「石けんの原料油脂と環境:マレーシアのパーム視察報告」『洗剤・環境科学研究会誌』25(1):31-33。
- 畑本勲治「アジアと共に歩む福祉をめざして」『アジア福祉文化研究センター研究紀要』3(1):9-12。
- 浜元聡子「オルケス・ムラユのある風景:あるムスリム社会の結婚式」『アジア・アフリカ地域研究』1:320-324。
- 早瀬晋三「海域東南アジア東部:「海の領主」、交易商人、海洋民」桜井由躬雄ほか『岩波講座東南アジア史 第4巻 東南アジア近世国家群の展開』岩波書店、pp.85-109。
- 原不二夫「被忘却了的‘第一次馬來人經濟會議’」『人文雑誌』(華社研究中心)8:104-109。
- 原洋之介「マレー・ディレンマ」『発言者』85:88-93。
- 坂東達郎「マレーシアにおける民営化企業の破綻」『Rim』1:61-68。
- 坂東達郎「縁故主義からの脱却を図るマハティール政権:マレーシア政府のレノン・グループ買収」『Rim』3:4-11。
- 東川繁「マレーシア現地刊行資料の収集と問題点」『アジア研ワールド・トレンド』75:14-15。
- 平木秀作「ASEAN 諸国における自動車部品相互補完生産に関する調査研究:タイ・マレーシア」『広島大学経済論叢』24(3):1-17。

- 平塚宏和「マレーシアの金融改革」『第一勧銀総研レビュー』2001年(1):41-75。
- 弘末雅士「メッカ巡礼と東南アジア・ムスリム」尾本恵市ほか(編)『島とひとのダイナミズム』岩波書店、pp.203-232。
- 弘末雅士「西インドネシアの展開:海域世界の活性化と地域統合」桜井由躬雄ほか『岩波講座東南アジア史 第4巻 東南アジア近世国家群の展開』岩波書店、pp.59-84。
- Fahmi Kasim 「マレーシアにおける著作権および隣接権の保護」『コピーライト』40(479):54-56。
- 深見純生「マラッカ海峡交易世界の変遷」桜井由躬雄ほか『岩波講座東南アジア史 第1巻 原史東南アジア世界』岩波書店、pp.155-283。
- 深見純生「海峡の覇者」石澤良昭ほか『岩波講座東南アジア史 第2巻 東南アジア古代国家の成立と展開』岩波書店、pp.115-139。
- 福田隆真・佐々木宰「マレーシアの教員養成における美術教育調査(2000年)」『山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』12:169-183。
- 藤井純一「マレーシア:不動産取得契約の問題点」『ジェトロセンサー』51(604):92-95。
- 藤井朋広「主要各国・地域における電気事業の動向:マレーシア」『海外電力』43(3):32-38。
- 藤岡浩子「マレーシア:「K-エコノミー」実現のカギ握る人材育成」『ジェトロセンサー』51(603):92-93。
- 藤田圭介「アジア諸国の倒産・担保法制の概要(6)マレーシア・シンガポール」『Credit & law』142:48-59。
- 藤巻正己「クアラルンプルの都市美化政策とスクォーター:新聞に描かれたスクォーター・イメージ」藤巻正己編『生活世界としての「スラム」:外部者の言説・住民の肉声』古今書院、pp.60-93。
- 舟橋良治「マハティール首相の政権基盤に一石:華字紙買収とマレーシア新聞事情」『新聞研究』604:47-50。
- 舟橋良治「マレーシアのブミプトラ政策にほころび:IT 国策企業の新規株公開に投資家が「ノー」」『世界週報』82(12):26-27。
- 舟橋良治「マレーシア:米国経済の減速に脅え、政治的安定にもほころび」『世界週報』82(13):25-27。
- 舟橋良治「マレーシア:「報道の自由を」と主要紙が異例の訴え」『世界週報』82(17):35。
- Frei, Henry P. 「Malaya in World War II: The Revolving Door of Colonialism: Malaya 1940-46」『東京家政学院筑波女子大学紀要』5:45-52。
- 星加泰「顕在化した東南アジア諸国の構造問題:マレーシアとインドネシアの政策評価を中心に」『経済学季報』(立正大学)51(1):213-253。
- 本間卓也「マレーシア熱帯早生郷土樹種造林技術現地実証調査プロジェクト」『林野時報』47(11):27-31。
- 増田辰弘「ペナンでロングステイビジネス:街中立地、安価、パーマネントでないのが鍵」『技術と経済』413:64-68。
- 増田辰弘「マレーシア:日本食レストランインキュベーター登場」『技術と経済』414:53-57。
- 舛谷鋭「マレーシア文学」宇戸清治・川口健一(編)『東南アジア文学への招待』段々社、pp.227-271。
- 松石達彦「東アジアにおける輸出工業化とその問題点:日系エレクトロニクス産業のマレーシア投資を例に」『一橋研究』25(4):1-23。
- 松宮美奈「マレーシアのMSC 計画とIT 関連製造業」『アジア・オセアニア情報』81:27-35。
- 松宮美奈「マレーシアの自動車産業」『ダイワ・アジア&ワールド』83:26-29。
- 松本由香「マレーシアの服飾文化:とくにインドネシア・アチェの影響について」『日本服飾学会誌』20:162-173。
- 松本好生「マレーシア・ペナンにおける福祉と施設の現状」『アジア福祉文化研究センター研究紀要』3(1):16-25。
- 丸淳子「新興国の社債市場:マレーシアのケース」『証券経済研究』30:99-111。

- 三木敏夫「IMFの救済融資と固定相場制と資本規制：マレーシアのケース」三木敏夫『アジア経済と直接投資促進論』ミネルヴァ書房、pp.125-145。
- 三木誠「ボルネオ先住民の宗教変容」森部一編著『文化人類学を再考する』青弓社、pp.133-171。
- 三嶋正人「マレーシアにおける国民統合の模索：「ワワサン 2020」実施過程における、マレーシアの国民統合の可能性」『竜谷大学大学院法学研究』3:103-131。
- 水島司「マラヤ：スズとゴム」加納啓良ほか『岩波講座東南アジア史 第6巻 植民地経済の繁栄と凋落』岩波書店、pp.65-88。
- 水野達「弾みがたくマレーシアの債券市場発展：資本市場マスタープランと展望」『国際金融』1064:54-59。
- 美濃羽靖・立花敏「マレーシアにおける持続可能な森林経営に向けた取り組み：森林認証制度と木材ラベリングについて」『京都府立大学農学部演習林報告』45:21-26。
- 三村ゆかり「知的障害福祉事情視察研修に参加して：マレーシアの知的障害者・児福祉の現状」『アジア福祉文化研究センター研究紀要』3(1):34-39。
- 宮岸哲也「多言語社会における日本語学習者のビリーフ：シンハラ人とマレー人の大学生を例に」『国語国文論集』（安田女子大学日本文学科）31:1622-1614。
- 宮崎裕治「マレーシアの英語教科書の内容分析」『大阪産業大学論集・人文科学編』103:31-42。
- 向寿一「マレーシアにおける自動車産業とファイナンス構造」向寿一『自動車の海外生産と多国籍銀行』ミネルヴァ書房、pp.65-83。
- 村上真也「マレーシアのリハビリテーションの現状：作業療法士としての関わりから」『アジア福祉文化研究センター研究紀要』3(1):26-33。
- Mohd. Salleh b. Mohd. Yasin「マレーシア：グローバル化と高等教育」『世界平和研究』27(1):7-11。
- 家島彦一「イスラーム・ネットワークの展開」石井米雄ほか『岩波講座東南アジア史 第3巻 東南アジア近世の成立』岩波書店、pp.17-43。
- 山崎正吾「マレーシア、インドネシア、ミャンマーの経済と政治」『世界思想』27(3):22-25。
- 山田紀彦「需要を忘れた国家 IT 政策：シンガポール、マレーシア、タイの事例」『アジア研ワールド・トレンド』7(9):10-13。
- YAMADA Mitsuru (山田満)「The Marginalization of Indian Community in Malaysia: A Study of National Integration of Multiethnic State」『教育学部紀要：人文科学』（和歌山大学）51:9-24。
- 山中弘「マレーシア華人民衆信仰のネットワーク」『アジア遊学』24:33-46。
- 横田悦二郎「タイ・マレーシアの金型産業と日本への要望」『アジア研ワールド・トレンド』7(6):16-19。
- 横堀肇「返還後の香港とシンガポールから：マレーシアへの国境越え」『市街地再開発』372:59-63。
- 吉野文雄「景気後退の生活水準への影響：インドネシア、マレーシア、タイ」下村恭民・稲田十一（共編）『アジア金融危機の政治経済学』日本国際問題研究所、pp.95-115。
- 吉原英樹、デイビッド・メセ、岩田智「シンガポールとマレーシアでの海外研究開発」『研究開発マネジメント』11(2):66-72; 11(3):102-110。
- 吉村真子「マレーシアのプランテーションにおける労働と「男性性」：プランテーションの労働構造と作業の質」『社会志林』（法政大学）48(2):1-13。
- 吉村真子「英領マラヤ／マレーシアの労働者をめぐる一考察」『国際文化会館会報』11(2):30-32。